

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス ロンド岡谷			
○保護者評価実施期間	6年 4月 1日 ～ 6年 12月 31日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	54名	(回答者数)	44名
○従業者評価実施期間	6年 4月 1日 ～ 6年 12月 31日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	15名	(回答者数)	8名
○事業者向け自己評価表作成日	7年 3月 1日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	平日イベント活動、休日イベント活動、支援プログラムの充実	平日：身辺自立(個別)(集団)・コミュニケーション(個別)(集団)のテーマに沿ったプログラムを各週おこなっている。 休日長期休暇：運動・調理・季節行事に加え、企画力・実行力を伸ばすイベントなど1時間程度の活動プログラムをおこなっている。	さらに5領域を意識して平日のイベント、休日のイベントの計画をしていけるように取り組む。
2	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）を作成している。	保護者とのコミュニケーションはもちろん、保護者や利用者本人から聞いたニーズをスタッフで共有し推敲。 スタッフ一同の意見を個別支援計画に反映している。	保護者や利用者本人とのコミュニケーションの中でニーズをさらに明確に汲み取り、整理をしていく。
3	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定を発信しており、連絡体制を備えている。	公式ラインを使用し利用者と営業時間の間はいつでも連絡を取れるようにしている。ホームページに毎日の様子をブログとして投稿を欠かさずしている。またペーパーレス化を進めている。	より一層ペーパーレス化などのIT化を進めていきたい。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がない。	事業所内で完結するイベントや楽しいイベントをすでに行っていたため、放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会をあまり必要としていなかった。	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会は作りたいと思う一方、利用者からは特に希望しないという意見もあるので今後検討していきたい。
2	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援が少ない。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなどの、きょうだいへの支援が少ない。	コロナウイルス感染症が流行する前は行っていたが最近はまだ行行うことができていなかった。	子どもと参加できるイベントがあると嬉しい。という意見を利用者からいただいて後検討していきたい。 一方で保護者会などは特に必要ないという声もあるのでこちらも事業所で検討していきたい。
3	支援開始前、終了後には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援または行われた支援の内容や役割分担について話し合う時間が短い。	職員1人1人で仕事には入れる時間が異なり打ち合わせの時間を取ることが難しくなっている。	利用者の情報を共有するため、月に1度開催されるスタッフ会議とは別にスタッフ情報共有会を開催した。支援員全員が参加し有意義な会となったので今後も定期的に開催したい。